

(別紙4(2))

事業所名 グループホームひらばり

## 目標達成計画

作成日: 平成 24年 1月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・家族参加型の介護の継続。	・年3回の家族会の継続を通して、家族同士の交流を図り、家族とともに介護を行える施設を目指す。	・家族会主催を「スタッフ」から「家族」に移行する。任せきりにするのではなく、スタッフはサポート役をして、家族が行う家族会を支援する。 ・家族忘年会の継続をし、退去されたご家族様と途切れない関係作りや、現在入居されているご家族様同士の悩みや想いを共有し、交流が図れる機会を作る。 ・ご家族様が来所された時には、スタッフが進んで、入居者様の最近の様子をお話し、ご家族とのコミュニケーションを図る。	12ヶ月
2		・介護度の重度化に対応できるフロアにした	・介護度が進んでも、なじみの環境での生活を継続することができる。 ・ドクターとの連携を図り、重度化における家族・スタッフ共に、介護について向き合い、入居者様にとっての一番を考える事ができる。	・FMやZMなどで「高齢者」「介護」などの勉強会の継続。 ・重度化に対するフロア作りの実施(トイレや食事等の形態変化に対応できるように) ・体調不良時には、ドクターへのスムーズな連絡、家族との連携を図り、入居者様にとっての最善の介護が行える環境を整える。 ・ルーチンの見直しをし、互いのフロアに対する助け合いや関わり合いがより行えるようにする。	12ヶ月
3		・1、2階共に外出の機会や交流を増やしたい。	・1～2か月に1度の夕食の機会を設ける。 ・1、2階合同のおやつを行う。 ・1、2階の行ききが増え、他の入居者様・スタッフと交流を図り、互いのフロアを思いやれることができる。	・「夕食の日」や「外出の日」と決めて、1、2階の入居者様合同での外出を1～2ヶ月に1回は行う。 ・「おつかい」として、1階から2階へ、2階から1階へと入居者様を介しての交流や合同のおやつ、一緒に散歩や買い物に行く等、同じフロアだけでは難しいことでも、互いのフロアの強みを生かし、実践に移す事ができる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。